

# 令和3年度 事業報告・収支決算

## — 全体概要 —



令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度

日本赤十字社長期ビジョン 第一次中期事業計画（R2～R4年）



クルーズ船対応



熊本豪雨



大雨災害



ウクライナ人道危機

(感染者数)

第1波

第2波

第3波

第4波

第5波

第6波

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

緊急事態宣言

(4/7～5/25)

緊急事態宣言

(1/8～3/21)

緊急事態宣言

(4/25～9/30)

オミクロン株国内初確認



日本赤十字社は皆様のご期待に応えるべく、変化・増大する人道的ニーズに対し総力を挙げて対応いたしました

## ○新型コロナウイルスへの対応（第4波～6波）

- 赤十字病院におけるコロナ患者の受け入れ
- コロナ禍での自然災害への対応（熱海土砂災害）
- リモート講習の推進などコロナ禍に対応した事業の実施
- 献血者の減少に対するWEB予約等を活用した輸血用血液の安定確保



## ○ウクライナ人道危機への対応

救いを託されている。

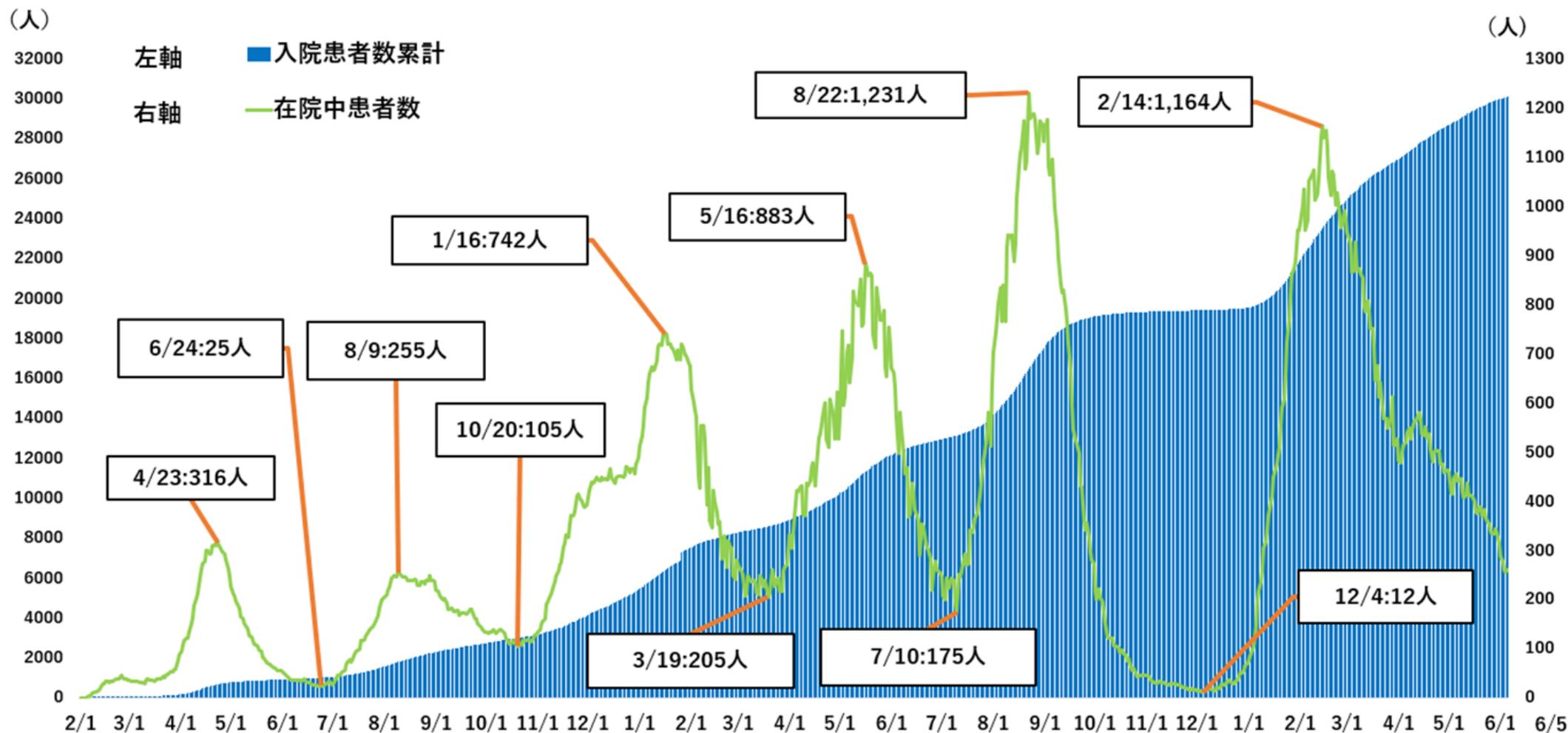
## 医療事業概要

- 赤十字病院 91病院
- 健康管理センター 1施設
- 入院患者数 958.5万人
- 外来患者数 1,584.4万人
- 総病床数 35,219床
- 看護専門学校 11校
- 看護大学（赤十字学園） 6大学
- 看護学生 4,396人

※ 専門学校・大学合計



# 新型コロナウイルス患者の受け入れ状況（令和2年2月～令和4年6月初旬）



- 90の赤十字病院において 3万人以上の新型コロナ入院患者を受け入れ
- 83の赤十字病院が帰国者・接触者外来等を設置し、31万3千人以上を診療

医師・看護師 延べ **21,561**人を派遣

他の医療機関や臨時医療施設等に対し、重症・中等症患者対応やワクチン接種支援として医師・看護師等を派遣



ワクチン接種会場で**33**の奉仕団が活躍

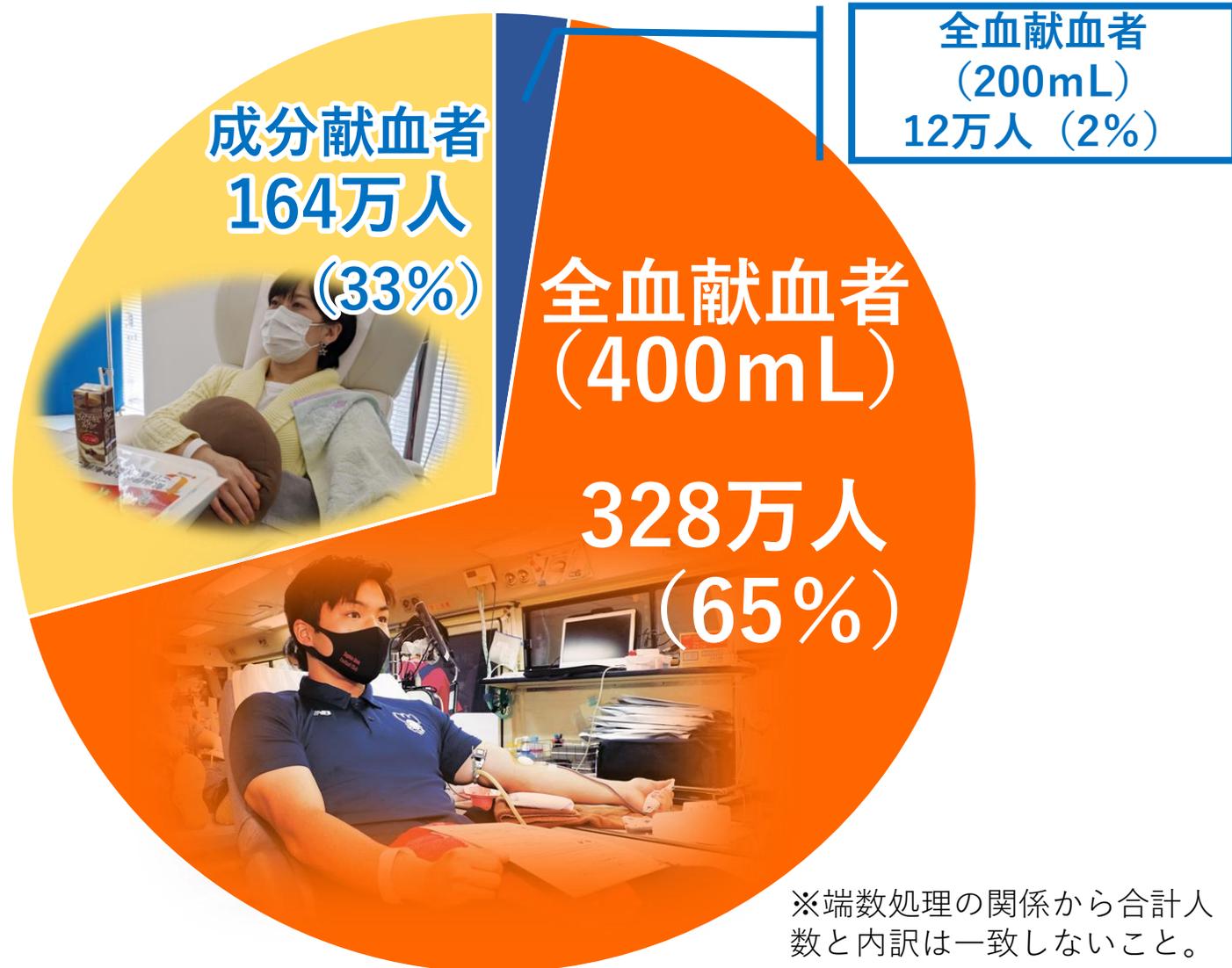
団員延べ**2,643**人が受付補助や会場誘導、車椅子介助、会場内アルコール消毒、衣服着脱の介助など実施



令和3年度 献血者数 505万人 (前年度比100.3%)

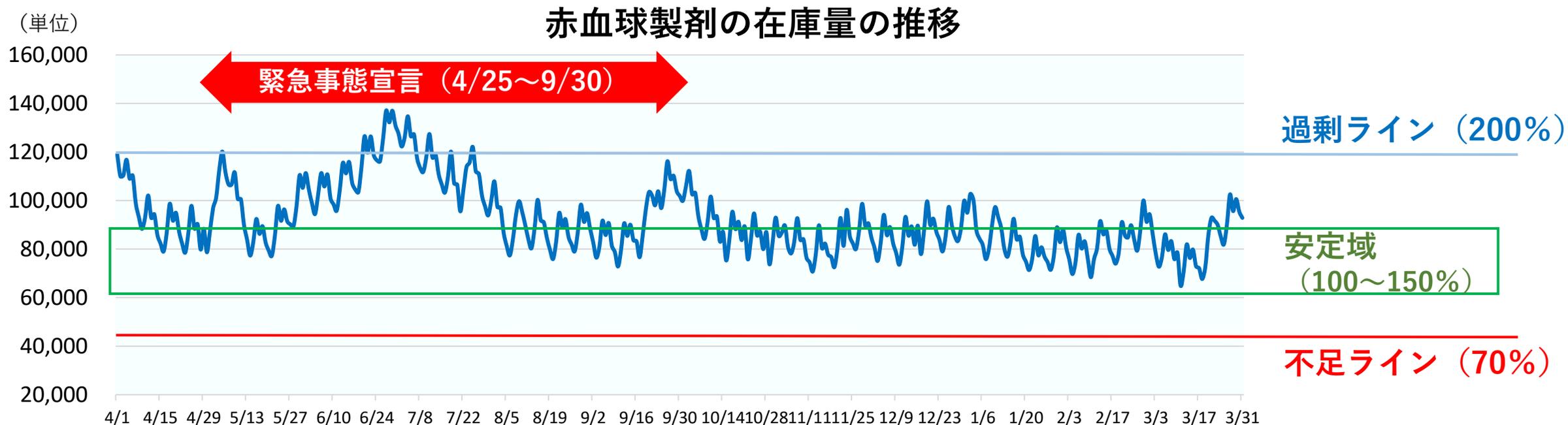
## 血液事業概要

- ブロック血液センター 7施設
- 地域血液センター 47施設
- 献血ルーム 136ヵ所
- 献血バス 278台
- 献血運搬車 1,988台



※端数処理の関係から合計人数と内訳は一致しないこと。

# コロナ禍における安定的な輸血用血液の確保（令和3年度）



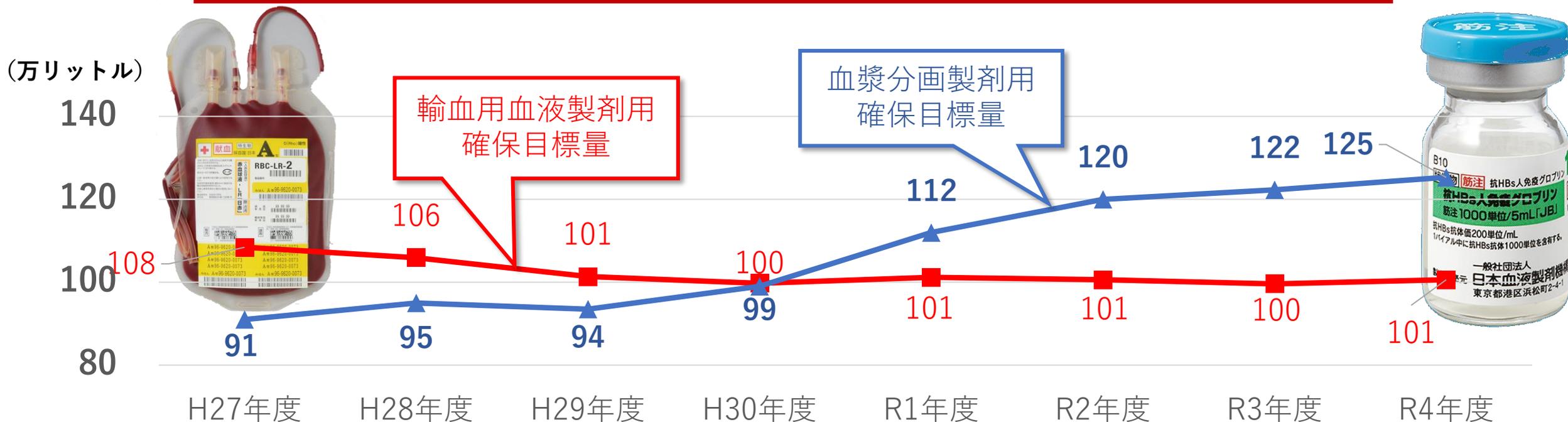
献血事前予約の推進等により、コロナ禍においても必要血液量を着実に確保

|                        | ラブラッド<br>会員数 | 予約率   | 予約率（内訳） |        |       |
|------------------------|--------------|-------|---------|--------|-------|
|                        |              |       | 血小板成分献血 | 血漿成分献血 | 全血献血  |
| ラブラッド導入時<br>(平成30年11月) | 約155万人       | 8.0%  | 28.9%   | 21.4%  | 1.5%  |
| 令和3年度末                 | 約295万人       | 38.7% | 79.2%   | 74.0%  | 20.9% |



# 献血血液の確保目標量の推移（平成27年度から令和4年度）

血漿分画製剤（血液を原料とした薬剤）の需要増加に伴い、製剤の原料となる血漿成分の確保目標が大幅に増加（全体目標の5割以上）



## 【若年層を中心とした献血の普及・啓発】

- 献血推進プロジェクト「いこう！献血」を令和3年9月21日（火）から展開
- 「はたちの献血」キャンペーンの実施（1月、2月）
- オンライン授業の定着を踏まえた新規献血者獲得策の強化



## 救護・社会活動等概要

- 常備救護班 485班 (4,954人)
- 取り扱い義援金額 (受付額) 1,475百万円
- 配布救援物資 13,297個・セット
- 青少年赤十字加盟校 14,441校
- ボランティア 114.3万人
- 救急法等の講習 28.5万人 (10,592回)
- 国際要員派遣人数 26人
- 児童福祉施設 15施設 (延利用者数25.9万人)
- 老人福祉施設 8施設 (延利用者数32.8万人)



令和3年7月の大雨災害（東海・関東等）

## 静岡県熱海市にて土石流による人的・住家被害が発生

- ・ 静岡県支部が救護班を派遣
- ・ こころのケア要員を宿泊施設に派遣
- ・ 救援物資を配布  
(毛布660枚・緊急セット104・タオルセット386ほか)



令和3年8月の大雨災害（九州・中国等）

## 九州北部や中国地方を中心に河川の氾濫や土砂災害が発生

- ・ 佐賀県支部がボランティアの看護師等を派遣  
(避難所アセスメントや在宅避難者への巡回訪問を実施)
- ・ 救援物資を配布  
(毛布485枚・緊急セット377・安眠セット387ほか)



**コロナ禍や避難環境の変化により避難形態が多様化**  
(体育館等への集団避難に加え、車中泊、在宅・ホテル避難など避難の選択肢が増加)

**避難形態の多様化により、地域と密着している奉仕団等の地元ボランティアによる支援活動の必要性・重要性が増加**



救援物資の搬送を行うボランティア（静岡県支部）



土砂で汚れた写真の洗浄作業（熱海市赤十字奉仕団）



災害ボランティアセンターで感染管理を行うボランティア（佐賀県支部）

新型コロナのまん延により対面による直接的なコミュニケーションが困難に

## WEBの長所を最大限に活用したコロナ禍における事業実施体制を実現

- 全国34支部において救急法等のオンライン講習を実施（3.6万人参加）
- 宮城県支部がNPOと協働実施した「3.11オンライン語り部LIVE」にJRC加盟校の小中高校生4,221人が参加
- 青少年赤十字創立100周年事業スタート（キックオフイベントは令和4年5月に実施）
- 赤十字乳児院等によるオンライン子育て支援などの地域貢献活動を実施



オンラインによる救急法講習  
(鹿児島県支部)



東日本大震災オンライン語り部LIVE  
(宮城県支部)



JRC100周年キックオフイベント  
(本社)



オンラインによるベビーマッサージ教室  
(松江赤十字乳児院)

## 日赤による主な支援活動

## 救援金に加え日赤職員による人的支援も実施

- 赤十字国際委員会及び国際赤十字連盟に対し国民からの救援金37億2千万円を送金（5月31日時点）
- 日赤国際担当理事及び国際部長のほか、国際部の職員を調整要員として現地に派遣
- 隣国モルドバに急遽設置された連盟の国際救援倉庫の管理責任者として日赤管理要員を派遣
- ウクライナ西部の国内避難民向け仮設診療所の立ち上げ・運営を目的として日赤薬剤師を派遣
- ポーランドでの社会的心理支援事業を支援するところのケア要員として日赤臨床心理士を派遣

ポーランドにて対応を協議する堀理事・田中国際部長



モルドバの河合係長（大阪赤十字病院）



ウクライナ西部仮設診療所の仲里薬剤師（大阪赤十字病院）

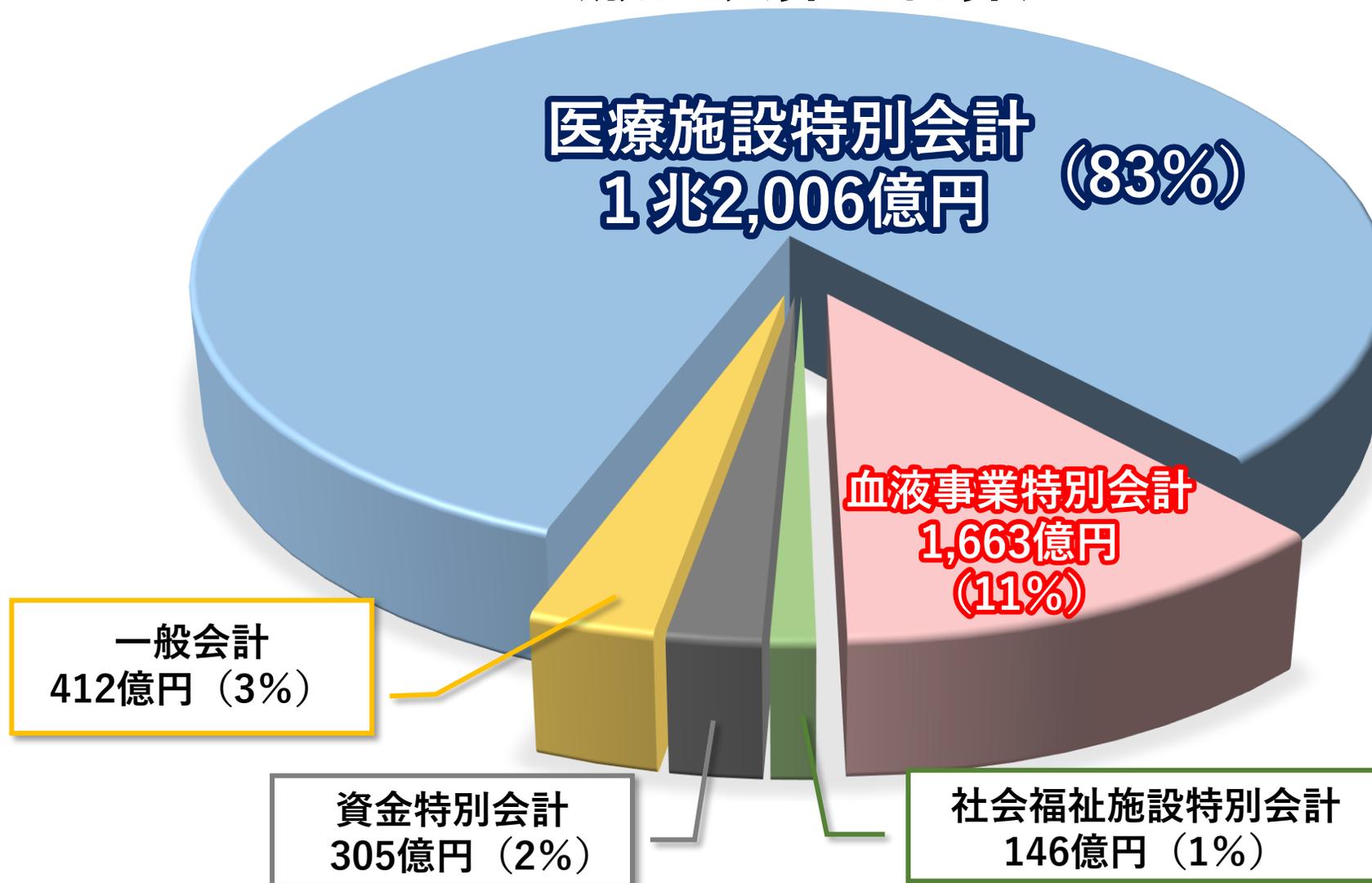


拡大する人道ニーズに対し、今後も様々な支援を継続してまいります

# 令和3年度決算の概要（合計）

※端数処理の関係から総額と内訳額は一致しないこと。

**総額 1兆4,534億円**  
**（歳出決算の合算）**



## 参考値

**国全体の医療費**  
42.2兆円(令和2年度)  
※うち日赤病院2.8%

**全国の病院数**  
8,238病院 (令和2年10月時点)  
※うち日赤91病院 (1.1%)

**国全体の調剤薬剤費**  
7.5兆円 (令和2年度)

**国全体の寄付金総額**  
1.2兆円 (令和2年)  
※日赤寄付285億 (2.4%)

# 令和3年度収支差引額

※端数処理の関係から差引額と歳入・歳出の内訳は一致しないこと。

|              | 歳入        | 歳出        | 差引額     |
|--------------|-----------|-----------|---------|
| ■ 一般会計       | 460億円     | 412億円     | 48億円 ※1 |
| ■ 医療施設特別会計   | 1兆3,193億円 | 1兆2,006億円 | 1,187億円 |
| ■ 血液事業特別会計   | 1,777億円   | 1,663億円   | 113億円   |
| ■ 社会福祉施設特別会計 | 191億円     | 146億円     | 44億円 ※1 |
| ■ 資金特別会計     | 305億円     | 305億円     | 0円      |
| 合 計          | 1兆5,928億円 | 1兆4,534億円 | 1,393億円 |

※1 次年度活動のための繰越金

## 【特殊要因】

新型コロナウイルス感染症対応のため他団体と同様に病床確保補助金の交付（約1,200億円）

コロナ関連補助金等を除くと医療特会は▲13億円となる